

令和8年度 横浜市野島青少年研修センター 事業計画一覧表

■令和8年度 野島研修センター 重点取組

- ①宿泊利用者(宿泊体験者)の増加を図ります。(目標宿泊利用者数 20,000人以上) ※2025年度実績の120%増
- ②利用手続きや資料提供等のデジタル化、SNS 広報を推進し、利便性向上など運営の充実を図ります。
- ③青少年に多様な体験機会を提供するため、今年度は環境教育に関する体験プログラムの充実を図ります。

区分	事業名	事業目的	実施内容	実施回数等
施設の貸与	施設の貸出 ・市基本施策 4 ・協約(1)-②、(2) ・法人中期経営方針 1-①、② 2-①、②	施設貸与を通して青少年に共同生活や集団活動などの体験機会を提供します。 障がいの有無や性別、国籍、年齢など、多様な背景や特性を持つ青少年にも宿泊体験の機会が提供できるよう活動環境を整備します。	①活動の相談や提案 ②利用促進・広報活動 ③利用者サービスの向上 ④利用者意見の検証	①通年 ②通年 ③通年 ④毎月
調査、資料収集	体験プログラムの成果検証 ・市基本施策 4 ・中期経営方針 1-①	研修センターが提供する体験プログラムや実施事業から体験活動の成果や効果を検証し、その結果を発信します。	プログラムを実施する学校や団体および事業参加者に事前と事後にアンケート調査を行います。	①調査 /通年 ②検証 /2月
講座セミナー育成	青少年の体験活動を支える人材育成 ・市基本施策 4 ・協約(1)-③ ・中期経営方針 2-②	青少年の様々な体験活動を支援する人材を育成するために、施設特性を活かした人材育成研修を実施します。 引き続き、施設が提供するプログラムの体験会を実施するとともに、青少年育成センターと連携した指導者・育成者のスキルアップ研修会を実施します。	①プログラム体験会の実施 ②指導者・育成者のスキルアップ研修会	①年4回 ②年2回
体験活動等	関係機関や団体との協働事業の実施 ・市基本施策 4, 5, 6 ・協約(1)-①、② ・中期経営方針 1-①②、2-①	様々な状況や背景を持つ青少年にも多様な体験機会を提供するため、青少年を支援する様々な関係機関と協働して青少年向けの体験活動を展開します。	①障がいのある青少年の活動の支援 ②不登校状態にある青少年の活動の支援 ③外国にルーツのある等多様な背景を持つ青少年の活動支援	①年1回 ②年1回 ③通年
	青少年を育む多様な体験機会の提供 ・市基本施策 4 ・協約(1)-①、② ・中期経営方針 1-①②、2-①	青少年が様々な体験機会を通して、社会を生き抜く力の基盤を育むとともに、地域や学校、団体を越えた交流(仲間づくり)を促進します。 今年度は新たな活動先での体験キャンプに取り組み青少年の体験機会の充実を図ります。	①日帰り体験教室 ②宿泊体験キャンプ ③環境保全啓発イベント ④ボランティア体験	①年4回 ②年2回 ③年1回 ④通年
	施設特性を活かした体験プログラムの提供 ・市基本施策 4 ・協約(1)-①、② ・中期経営方針 1-①、2-①	利用団体が体験活動を通して青少年の心身の成長を促せるよう研修センターの特性を生かしたプログラムを開発し提供します。特に GREEN×EXPO2027 の開催に合わせ環境への意識を高める環境教育プログラムの充実に取り組みます。	①体験プログラムの提供 ②体験プログラムの開発	①通年 ②12月～2月

	<p>青少年団体や関係機関の活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市基本施策 4 ・協約(1)ー② ・ユース基本方針 1ー②、2ー①② 	<p>公共的な青少年活動を展開する団体・関係機関への施設貸与や体験イベント等への協力を通じて、より多くの青少年に体験機会が提供されるよう団体等の活動を支援します。</p>	<p>研修センターを活用した青少年の宿泊活動や体験イベント等への協力と連携、活動支援</p>	<p>通年／支援団体 4 団体以上</p>
	<p>地域貢献・地域活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市基本施策 4、9 ・協約(1)ー② ・中期経営方針 1ー②、2ー①② 	<p>周辺地域の方々に運営の協力や理解が得られるよう、職員が積極的に地域と関わり、地域貢献活動を通して地域の方々と顔の見える関係を築き、施設の安心と安全の確保に努めます。</p>	<p>①野島海浜の清掃活動 ②地域連絡会の実施 ③地域活動や防災の支援</p>	<p>①年 4 回 ②年 2 回 ③通年</p>
<p>その他事業</p>	<p>自主財源の確保の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市プラン該当なし ・協約MC(2) ・経営方針該当なし 	<p>施設立地を有効に活用して、「指定管理者制度運用ガイドライン」の改正を踏まえた自主財源獲得の自主事業を試行します。</p>	<p>①正面ホール前のキッチンカー等の出店誘致 ②食品自販機の導入 ③正面ホールの有料貸出</p>	<p>①通年 ②通年 ③通年</p>

《目標設定時公表項目》 横浜市野島青少年研修センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	利用者が安全で充実した活動が展開できるよう、事前打合せや相談対応を強化するとともに、手続きや広報のデジタル化を推進し利便性向上など運営の充実を図ります。	①事前打合せ、相談コーディネート の満足度：90%以上 ②キャッシュレス化や手続き等のデジタル化 SNS 広報の充実（毎週配信、情報更新）
業務運営	施設貸与を通して青少年に共同生活や集団活動などの体験機会を提供します。 障がいの有無や性別、国籍、年齢など、多様な背景や特性を持つ青少年にも体験活動の機会が提供できるよう活動環境を整備し、青少年の体験活動を推進します。	①宿泊利用者数：20,000 人 （令和 7 年度実績：約 16,500 人） ②体験プログラム参加者数：15,500 人以上 （令和 7 年度実績：約 14,000 人） ③主催事業参加者数：400 人以上 （令和 7 年度実績：約 380 人） ④関係機関等との協働事業の実施：4 事業以上
職員育成	利用者の安全確保や青少年の活動支援が的確に行えるよう、各種訓練の実施や研修会への参加を行います。	①防災・避難誘導、救命救急の訓練実施：2 回以上 ②セーフガーディング研修の受講：1 回以上 ③青少年に関する外部研修へ参加：各職員 2 回以上
財務	宿泊利用者の増加を図り利用料金収入の増収を図ります。また、改正された指定管理者制度運用ガイドラインを活用した新たな収入源を模索します。	①利用料金収入 1,300 万円 （令和 7 年度実績：約 1,100 万円） ②指定管理者制度運用ガイドラインを活用した自主事業の試行

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組（改善計画）
利用者サービス	利用者が安全で充実した活動が展開できるよう、事前打合せや相談対応を強化するとともに、手続きや広報のデジタル化を推進し利便性向上など運営の充実を図ります。	①事前打合せ、相談コーディネート の満足度：90%以上 ②キャッシュレス化や手続き等のデジタル化 SNS 広報の充実（毎週配信、情報更新）			
業務運営	施設貸与を通して青少年に共同生活や集団活動などの体験機会を提供します。 障がいの有無や性別、国籍、年齢など、多様な背景や特性を持つ青少年にも体験活動の機会が提供できるよう活動環境を整備し、青少年の体験活動を推進します。	①宿泊利用者数：20,000 人 （令和 7 年度実績：約 16,500 人） ②体験プログラム参加者数：15,500 人以上 （令和 7 年度実績：約 14,000 人） ③主催事業参加者数：400 人以上 （令和 7 年度実績：約 380 人） ④関係機関等との協働事業の実施：4 事業以上			
職員育成	利用者の安全確保や青少年の活動支援が的確に行えるよう、各種訓練の実施や研修会への参加を行います。	①防災・避難誘導、救命救急の訓練：2 回以上 ②セーフガーディング研修の受講：1 回以上 ③青少年に関する外部研修へ参加：各職員 2 回以上			
財務	宿泊利用者の増加を図り利用料金収入の増収を図ります。また、改正された指定管理者制度運用ガイドラインを活用した新たな収入源を模索します。	①利用料金収入 1,300 万円 （令和 7 年度実績：約 1,100 万円） ②指定管理者制度運用ガイドラインを活用した自主事業の試行			

令和8年度 「野島青少年研修センター」 収支予算書及び報告書

集計に使用するため、この列の数字は変更しないでください。

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	84,297,000		84,297,000		84,297,000	横浜市より(物産スライド補正額：1,743,000円、賃金水準スライド補正額：1,021,000円)
利用料金収入	14,500,000		14,500,000		14,500,000	
指定管理事業収入	5,078,000	0	5,078,000	0	5,078,000	
事業への参加料等	5,078,000		5,078,000		5,078,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料収入			0		0	
雑入			0		0	
収入合計	103,875,000	0	103,875,000	0	103,875,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	36,656,000	0	36,656,000	0	36,656,000	
給与・賃金	29,169,000		29,169,000		29,169,000	賞与引当繰入額946千円含む
社会保険料	4,959,000		4,959,000		4,959,000	
通勤手当	800,000		800,000		800,000	
健康診断費	70,000		70,000		70,000	
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000		60,000	
退職給付引当金繰入額	1,598,000		1,598,000		1,598,000	
事務費	625,000	0	625,000	0	625,000	
旅費	80,000		80,000		80,000	
消耗品費	55,000		55,000		55,000	事務消耗品ほか
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	15,000		15,000		15,000	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	50,000		50,000		50,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	150,000		150,000		150,000	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	30,000		30,000		30,000	
リース料	100,000		100,000		100,000	コピー機リース料
手数料	0		0		0	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	町内会祭事等負担金
事業費	2,398,000	0	2,398,000	0	2,398,000	
指定管理事業費	2,398,000		2,398,000		2,398,000	
管理費	61,213,000	0	61,213,000	0	61,213,000	
光熱水費	17,523,000	0	17,523,000	0	17,523,000	
電気料金	7,400,000		7,400,000		7,400,000	
ガス料金	6,500,000		6,500,000		6,500,000	
水道料金	3,623,000		3,623,000		3,623,000	
清掃費	12,808,000		12,808,000		12,808,000	
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
機械警備費	240,000		240,000		240,000	
設備保全費	15,250,000	0	15,250,000	0	15,250,000	
空調衛生設備保守	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
消防設備保守	300,000		300,000		300,000	
電気設備保守	5,000,000		5,000,000		5,000,000	
害虫駆除清掃保守	300,000		300,000		300,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	5,650,000		5,650,000		5,650,000	ボイラー、自家発電、ろ過器、冷水器、中央監視盤、エレベーターほか
共益費	13,392,000		13,392,000		13,392,000	ゴミ処理委託、リネン、マット交換、警備スタッフ経費、管理消耗品ほか
公租公課	1,500,000	0	1,500,000	0	1,500,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,283,000	0	1,283,000	0	1,283,000	
本部分	283,000		283,000		283,000	
当該施設分	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
二一ズ対応費	200,000		200,000		200,000	
支出合計	103,875,000	0	103,875,000	0	103,875,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入	445,000		445,000		445,000	自動販売機および物販収入
自主事業費支出	445,000		445,000		445,000	販売物品の購入費、目的外使用料、電気代
自主事業収支	0		0		0	
管理許可により行う事業費収入			0		0	
管理許可により行う事業費支出			0		0	
管理許可により行う事業収支	0		0		0	

(1) 保守管理業務

ア 建築物の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	点検計画
外部仕上げ	外壁、屋根、地面など	日常点検	毎日実施
内部仕上げ	壁面、天井、床など	日常点検	毎日実施

※点検内容：仕上げ材の浮き、ひび割れ、はがれ、かびの発生、美観の維持

イ 建築設備の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	協定書回数・頻度	点検計画	
空気調和 関連設備	空気調和機	定期点検	月1回以上	12回	
	全熱交換機			12回	
	パッケージ型空調機			12回	
	ヒートポンプエアコン			12回	
	ファンコイルユニット			12回	
	空調換気扇			12回	
	その他ポンプ類			随時	
	冷却塔			12回	
	冷温水・冷却水ポンプ			12回	
	送・排風機			12回	
電気関連設備	受変電設備	定期点検	週1回以上	毎週実施	
	配線設備（幹線・分電盤等）				
	負荷設備（制御盤・電動機等）				
	負荷設備（照明・コンセント等）				
	配線通信線路				
	構内交換設備				
	外灯設備				
自家発電設備					
給排水衛生設備	受水槽・高置水槽	定期点検	月1回以上	12回	
	揚水ポンプ・加圧給水装置			12回	
	給湯器・貯湯槽・熱交換器			12回	
	衛生器具類			12回	
その他の 設備管理	ガス設備	定期点検	月1回以上	監視装置にて 常時監視	
	消防設備			月1回以上	12回
	自家用電気工作物			月1回以上	監視装置にて 常時監視
	中央監視装置			年2回以上	5月、11月
	濾過装置			年4回以上	6月、9月、12月、3月
	エレベータ設備			月1回以上	12回
	自動ドア設備			年3回以上	5月、9月、1月

環境衛生管理	空気環境測定	定期点検	年6回以上	5月、7月、9月、 11月、1月、3月
	排ガス測定		年2回以上	5月、11月
	水質検査		年2回以上	7月、1月
	簡易専用水道検査		年1回以上	8月
	ねずみ・衛生害虫駆除		年2回以上	9月、3月
	ダニ及び害虫駆除		年1回以上	6月、9月、3月
	受水槽清掃		年1回以上	7月
	雑排水槽清掃		年2回以上	4月、10月
	汚水槽清掃		年2回以上	4月、10月
	浴槽レジオネラ菌属検査		年2回以上	8月、3月

ウ 備品等の保守管理

項目	協定の内容	計画
備品の保守管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施

(2) 環境維持管理業務

ア 清掃業務

項目	対象・範囲	協定書の回数	計画
日常清掃業務	館内	1日1回以上	毎日1回以上実施
	公園及び側道	1日1回以上	毎日1回以上実施
定期清掃業務	床清掃 (洗浄・ワックス清掃等)	隔月月1回以上 (夏休み期間を除く)	6回
その他の清掃業務	カーペット清掃	年1回以上	3月
	窓枠・窓ガラス清掃	年4回以上	6月、9月、12月、3月
	網戸清掃	年1回	11月
	厨房穴ステンレス及びタイル壁面清掃	年1回以上	11月
	照明器具及び給排気口清掃	年1回以上	10月、2月
	ブラインド清掃	年1回以上	9月
	厨房グラスフィルター清掃	年1回以上	5月、8月、11月、2月

イ 保安警備業務

項目	対象・範囲	協定の内容	計画
有人警備	建物及び敷地内 (9:00～17:00)	研修センター内の秩序を維持し、火災等の災害や盗難、破壊等の犯罪の発生を警戒、防止し、来所者の安全をはかり、財産の保全をはかる。	開館日に実施
宿直警備	宿直日 (17:00～翌9:00)		宿泊利用日に実施
機械警備	非宿直日 (17:00～翌9:00)		非宿泊日に実施

■大規模修繕、大型工事等

No.	更新項目	故障・修繕の原因	概算金額	備考
1	ボイラー更新（水漏れ、経年劣化ほか）	経年劣化	500万円以上	横浜市対応案件 ※設置から30年以上経過
2	雨水ポンプ交換	経年劣化	60万円	発注済み、納品次第実施
3	非常用ディーゼル発電機バッテリー交換	経年劣化	60万円	発注済み、納品次第実施 ※安全確保に支障
4	非常用ディーゼル発電機オイル交換ほか	経年劣化	60万円	令和8年度に実施予定 ※安全確保に支障
5	B1女子トイレ、中浴室、1F男子トイレ排気ファン故障	経年劣化	見積取得中	横浜市対応案件、厨房給排気問題
6	食堂ファンコイル3台故障(全12台)	経年劣化	500万円以上	横浜市対応案件 ※設置から30年以上経過
7	厨房給気ファン改修工事2台故障(全4台)	経年劣化	300万	横浜市対応案件、厨房給排気問題
8	食堂ファンコイル3台故障(全12台)	経年劣化	500万円以上	横浜市対応案件 ※設置から30年以上経過
9	浴場タイルヒビ・水漏れ	経年劣化	見積取得中	対応検討中
10	消火器の入れ替え	経年劣化	15万円	発注済み、納品次第実施
11	受電設備漏電リレーの交換	経年劣化	20万円	発注済み、納品次第実施
12	1F、2FのWi-Fiアクセスポイントの設置	利用者サービスの向上	50万	ニーズ対応

■適宜対応する案件

No.	更新項目	故障・修繕の原因	概算金額(円)	備考
②	正面玄関等タイル補修	経年劣化		適宜補修実施中
③	宿泊室エアコンのダクト修理	経年劣化		適宜補修実施中
④	宿泊室壁紙の張替	経年劣化		適宜補修実施中
⑤	施設内植栽 ※特に松などの常緑高木	樹木の成長による		高所作業者必要、倒木や落木の恐れあり